PATLITE

T95100070 H

生産終了
Production end

スタッフページングシステム
ストアコール（受信機）
取扱説明書

TYPE ： RC-100C

このたびは、パトライト® スタッフページングシステムをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また本書は大切に保管してください。
保守・点検や、補修などをするときは必ず本書を読み直してください。
なお、ご不明な点は最終ページに記載の技術相談窓口へお問い合わせください。

●安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しております。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です
⚠注意	この表示欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です

1.安全のために必ずお守りいただきたいこと

⚠警告

●配線・本体の取付けは、必ず電源を切っておこなってください。感電の恐れがあります
●配線は間違いのないよう注意してください。配線を間違うと内部回路が焼損し、火災の原因になります
●製品の分解・改造をしないでください。火災・感電の恐れがあります
製品内部の修理・点検などは、最終ページ記載の技術相談窓口へお問い合わせください。
●工事を伴う設置は専門業者へ依頼してください。感電・火災・落下の恐れがあります。
●電源プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。また、長時間使用しない時は、電源プラグを抜いてください。
●コンセントや配線器具の定格を越える使い方や、交流100V以外では使用しないでください。
たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
●ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。
●電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。
●異常が起きたらすぐに電源プラグを抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因になります。
●ACアダプタを破損するようなことはしないでください。傷んだまま使用すると感電、ショートや火災の原因になります。
●本製品を安全重視の保安目的でご使用される場合には必ず日常点検を実施し、万一の不具合故障発生時のために他の機器との併用をおこなってください。

⚠注意

●必ず指定のACアダプタを使用してください。指定以外のACアダプタを使用すると、火災の原因になることがあります。
●この機器の上に薬品や水の入った容器、小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、感電や火災や事故の原因になります。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因になることがあります。
●不安定な場所に置かないでください。バランスが崩れて落下したりして、けがの原因になることがあります。
●本機の上に重いものを置かないでください。バランスが崩れて落下したりして、けがの原因になることがあります。
●受信機・送信機の汚れは、水または石鹸水などを含んだ柔らかい布でふいてください。
（シンナーベンジンなどで拭くと変形、変色の恐れがあります）
●本製品は、屋内専用です。雨、水などのかからない場所でご使用ください。

生産終了
Production end

お願い

●腐食性ガスのない環境で使用してください。故障の原因になります
●静電破壊防止の為、体に帯電している静電気を放電させてから作業をおこなってください。
他のアースされている金属部分に素手で触れると静電気を放電させることができます。

お知らせ

●送信機付属の電池は、お試し用ですので、ご使用の際は新しい電池をお使いください。

警告及び注意事項に反したお取扱い、分解、改造や天災などによって生じた故障についての保証はできません。
また、本書に記載した内容以外でのご使用は避けてください。

2. 特徴

●店舗における係員呼出を特定小電力無線電波を使用して行います。ワイヤレス方式のため、送信機の設置、移設が簡単に行えます。
●送信機の増設により呼出場所を追加することができます。
●送信機は受信機へ登録せずに使用できます。
●ひとつのメッセージに対して、複数の送信機を使用することができます。売り場面積の広いコーナーで複数の送信機をご利用ください。
●音声メッセージにMP3(MPEG1 Audio Layer-3)方式を採用し、高音質を実現しました。

3. ストアコールの機能

ストアコールにはより効果的に店舗運営を行うためにいくつかの機能を搭載しています。
各種機能の設定に関しては【P8～P19：８．各種設定について】を参照してください。

１．モニター音量

モニター音量の調節が可能です。音量は大→小→切の3段階で調節が可能です。【P8】

２．リピート呼出し

お客様が係員を呼出ししてから、30秒以内に対応する(解除スイッチを押す)ことが出来なかった場合に、再度同様のメッセージを館内放送させる機能です。お客様への対応忘れを防止し、サービスの向上を図れます。【P9】

３．一定間隔再生

あらかじめ決められたメッセージを15分もしくは30分間隔で放送することができます。店内警備のメッセージで万引き防止を促したり、定時連絡放送に用いたり、係員呼出しの本器の案内などにも用いることが出来ます。【P10】

４．メッセージ変更

メモリーカードを用いたメッセージ変更がお客様で出来ます。(別途オプション品要)【P11】
弊社でのメッセージ変更も受け付けております。

５．時刻設定

現在時刻の設定が出来ます。設定した時刻はログ保存の際に使用された時間を表示します。【P13】

６．ログ保存

送信機の使用状況を記録してデータとして出力することができます。データはメモリーカードへCSV形式で出力しますので、パソコン上で集計が可能です(CSV形式は表計算ソフトがインストールされているパソコンで閲覧が出来ます)。
データを集計すればどこの売り場でどの時間帯にお客様が集中しているかを把握でき、必要な場所・必要な時間に必要なだけ店員を配置できますので、より効率のよい店舗運営が可能となります。【P15】

７．グループ設定

ストアコールで使用する電波のグループを変更することができます。本システムを同一グループ設定で隣接して設置する場合、電波が混信する可能性が有ります。その場合はグループ設定を変更してください【P18】。

８．BUSY出力端子

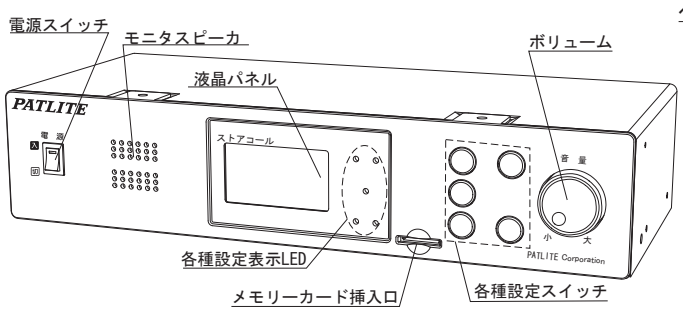
送信機の電波を受信し、館内放送の再生中にBUSY出力端子に接続した機器を動作させることが出来ます。ストアコールの再生中は他の音声機器の音をミュートさせる、表示灯を点灯させる、など利用方法は様々です。【P5】

生産終了
Production end

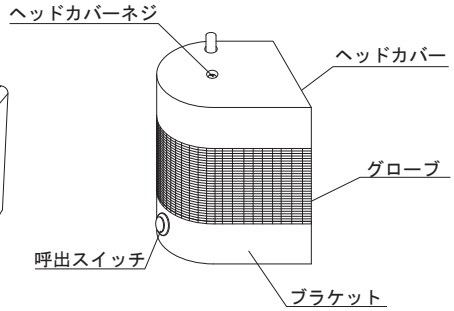
4. 形状および各部の名称について

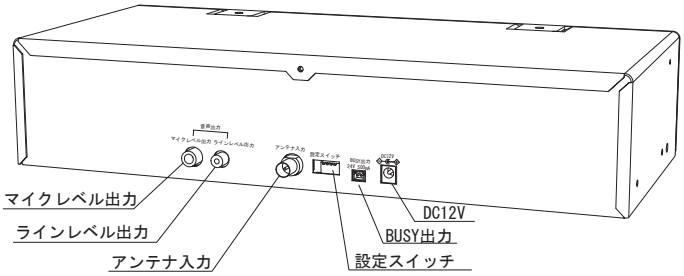
【各部の名称】

受信機 RC-100C

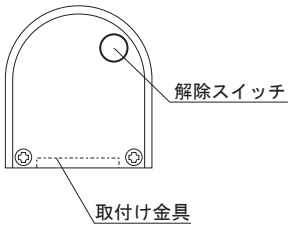


送信機 RC-TC(別売)



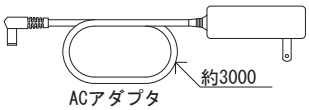


背面図

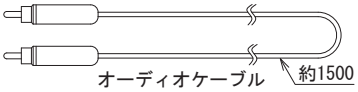


底面図

付属品

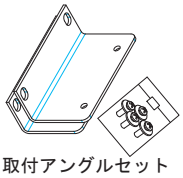


ACアダプタ



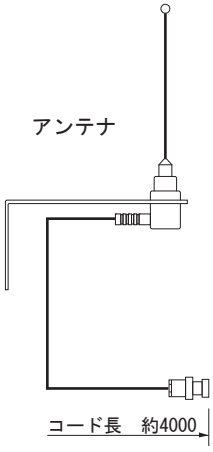
オーディオケーブル

BUSY出力ケーブル

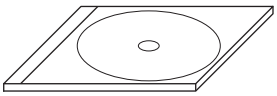


取付アングルセット

アンテナ



ゴム足(4個)



メッセージCD-ROM
（内容：ご注文時のプレイリスト
ファイルとメッセージデータ）

生産終了
Production end

5. 取付けについて

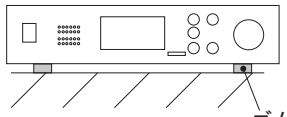
⚠警告

- 送信機及び受信アンテナは取付け面の強度を良く確認して、送信機が外れたり落下しないように取り付けてください。けがをする恐れがあります。
- 受信機をラックに取付けの場合はラックに付属の4本のネジでしっかりと取付けてください。

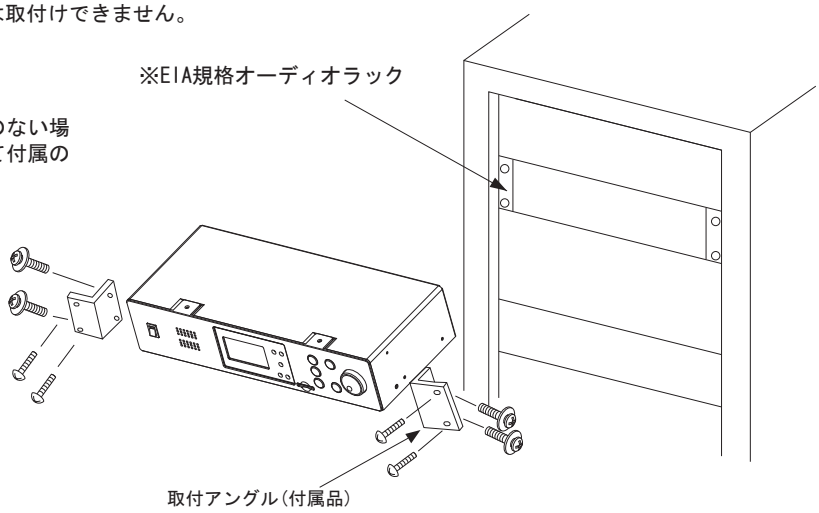
- 送信機の設置場所を決める時は、送信機のメッセージ対応チャンネルを参照してください。
- EIAラック専用です。JISラックには取付けできません。

【受信機】

①机上設置
机上に設置する場合は、落下の恐れのない場所に設置してください。必要に応じて付属のゴム足をお使いください。

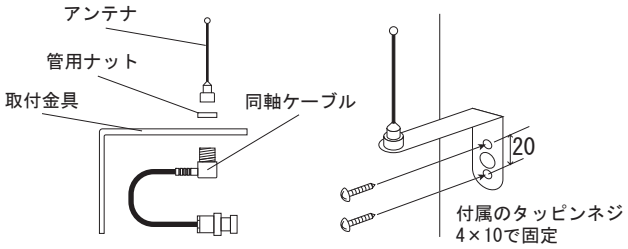


②ラック取付け
ラック取り付け用の金具は、付属の取付アングルを使用し、ラックに付属されているネジで取付けてください。

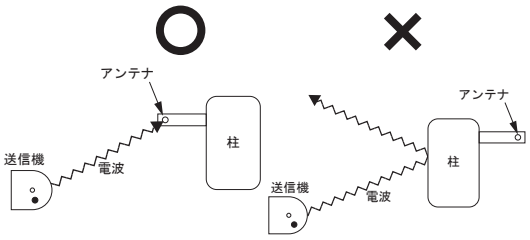


【受信アンテナ】

- 受信アンテナの設置場所を決める際は、受信アンテナおよび送信機を仮設置し、すべての送信機からの電波が受信できるか事前にチェックしてください。
- 受信アンテナの設置場所は、できる限り高い場所で送信機が設置してある方向に向けて設置してください。また、壁や柱からアンテナまでの距離を10cm以上離してください。
- アンテナが壁や柱のなどの構造物に接触しないように設置してください。

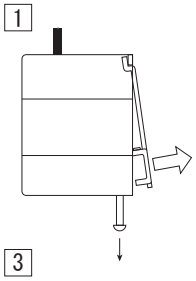


設置フロアを上から見た図



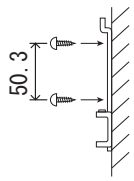
【送信機】

1



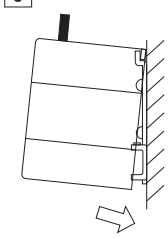
- 送信機から取付金具をはずしてください。（ブラケット下部のねじ2本をはずすと取付金具がはずれます）

2



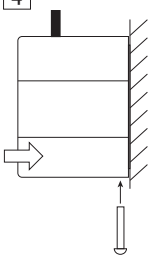
- 取り外した取付金具を壁面に取付けてください。
（壁面に応じたM4ねじ2本で固定します。このとき取付金具の向きに注意してください。⇧マーク方向がヘッドカバー側になります）

3



- 送信機上部（ヘッドカバー裏側）を取付金具に引っ掛け、壁面に密着させてください。

4



- 1 で取り外したねじ2本でしっかり固定してください。
⇨方向へ少し押さえるとねじが入りやすくなります。

生産終了
Production end

6. 配線について

注意

●放送設備側の入力端子は受信機の仕様に合った端子を選択してください。十分な音量がでなかったり、音声メッセージがひずんだりすることがあります。
●BUSY出力にAC/DC24V 500mAを超える負荷を接続すると、内部回路が焼損します。

○アンテナ配線

アンテナの配線を延長する場合は、5D-2V以上で必ず50Ωの同軸ケーブルをお使いください。

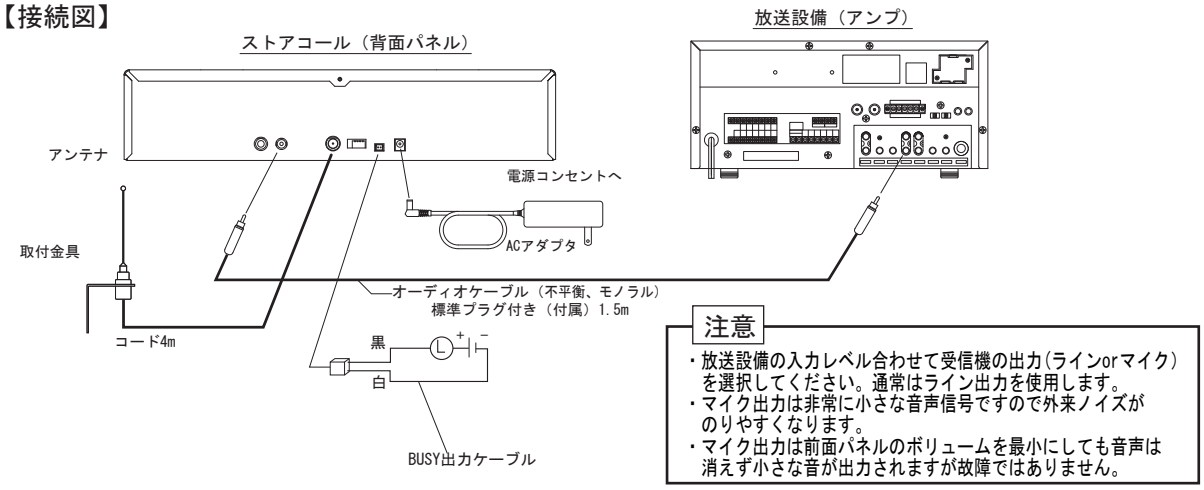
○BUSY出力

メッセージ再生中、表示灯や回転灯と外部電源を接続することにより、動作表示させる事ができます。
接続には、付属のケーブルを使用して下さい。
最大負荷は、AC/DC24V 500mAです。

○ライン出力

放送設備と受信間の接続は、付属のオーディオケーブル(1.5m)をお使いください。

【接続図】



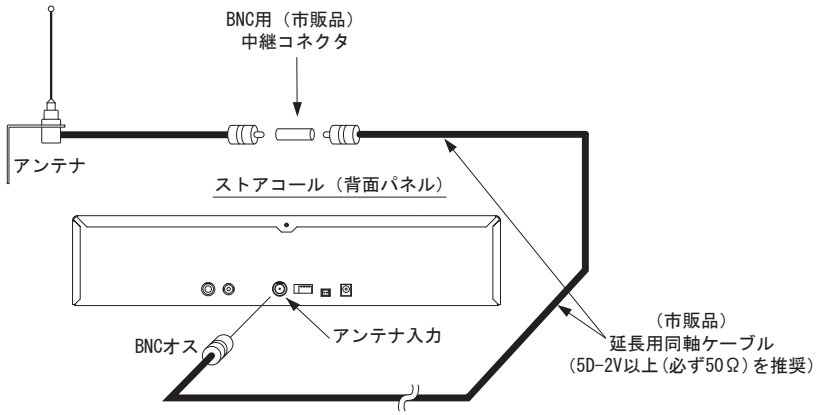
注意

・放送設備の入力レベル合わせて受信機の出力(ラインorマイク)を選択してください。通常はライン出力を使用します。
・マイク出力は非常に小さな音声信号ですので外来ノイズがのりやすくなります。
・マイク出力は前面パネルのボリュームを最小にしても音声は消えず小さな音が出力されますが故障ではありません。

注意

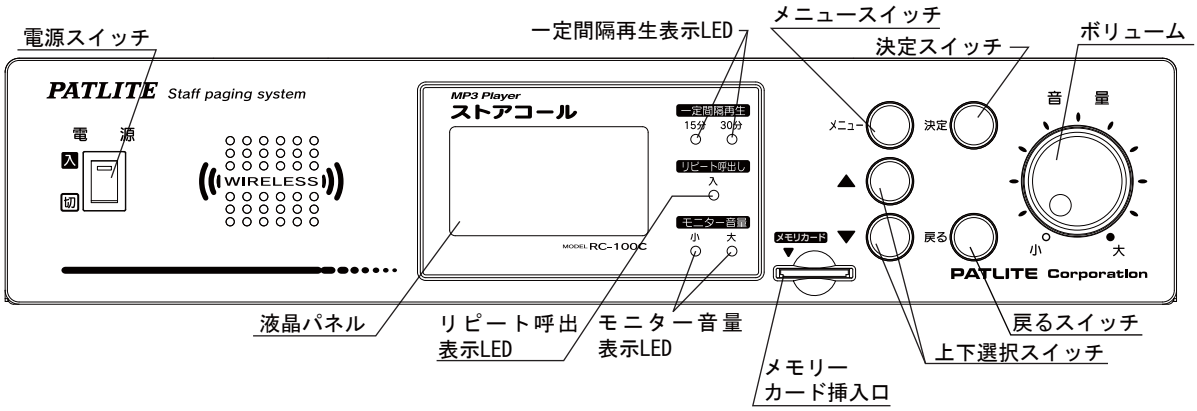
●受信機を見通しの効かない場所で使用する場合、及びフロアが広く電波が届かない場合は配線を延長しアンテナを電波の届く範囲へ移設します

（例）アンテナケーブルを延長する場合



生産終了
Production end

7. ご使用方法について



注意

●電波の到達距離は通常下記のような周囲の状況により短くなる場合があります。

(例)・受信機と送信機の間に金属、鉄筋コンクリートなどがある場合。

・テレビ、ラジオの送信所の近辺で強電界地域の場合。

・受信機をテレビやラジオの近くで使用している場合。

・送信機の電池が消耗している場合。（LEDランプが点滅）

・蛍光灯などのインバータの近くで使用している場合。

【ご使用に関して】

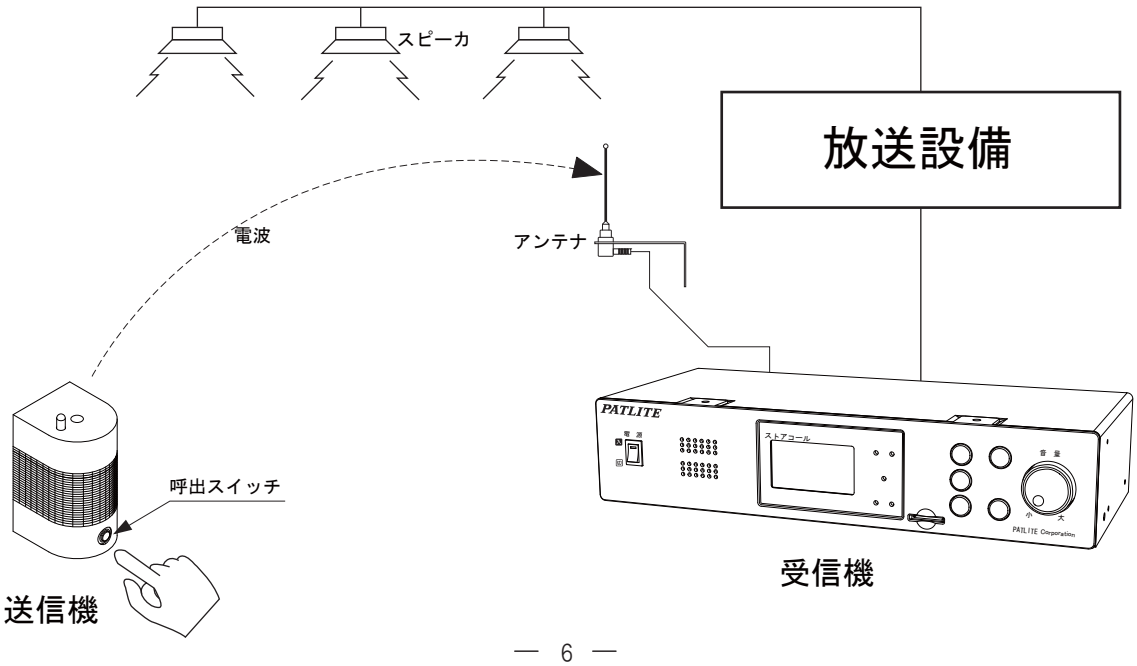
ご使用方法のイメージは下図のようになります。

その他、各種設定については【8. 各種設定について】をご参照ください。

【呼出し操作手順】

1. 受信機の電源を入れる。
2. 送信機の呼出しスイッチを押す。
3. アンテナで電波を受信し、液晶パネルに呼び出された送信機の番号が表示されます。
4. 放送設備を通してメッセージが館内放送されます。
5. 送信機の解除スイッチを押す。

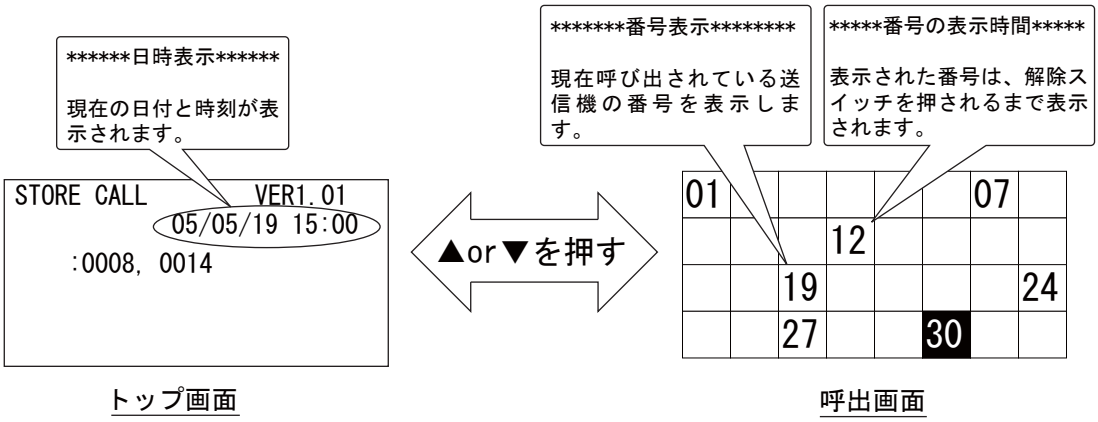
システムイメージ図



生産終了
Production end

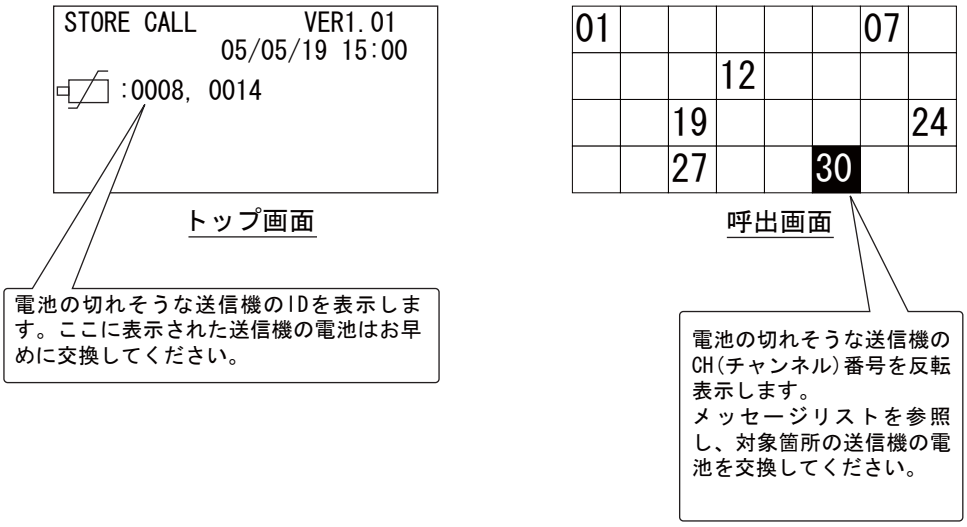
【液晶パネルの見方】

電源を投入すると、液晶パネルにはトップ画面が表示されます。
[上下選択スイッチ]の▲、もしくは▼を押しますと、下図のような呼出画面へ移動します。
[上下選択スイッチ(▲or▼)]を押すたびに、トップ画面と呼出画面が切り替わります。



【電池切れの表示】

送信機を1年ほど使用しますと、電池がなくなってきます。
液晶パネルのトップ画面と呼出画面ではそれぞれ電池の切れそうな送信機を表示します。
ここに表示された送信機の電池はお早めに交換してください。
送信機の電池交換に関しましては、P20もしくは送信機の取扱説明書を参照してください。



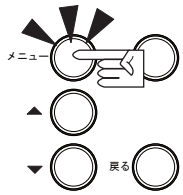
※電池の切れそうな送信機の呼出ボタンを押しますと、呼出メッセージの末尾に『送信機点検してください』などの電池交換を促す案内メッセージが放送されます。

生産終了
Production end

8. 各種設定について

メニュー画面

・全ての設定はメニュー画面より行います。下図の[メニュースイッチ]を1回押すと、液晶パネルに右図のようなメニュー画面が表示されます。



各種設定スイッチ

【 > 】のカーソルがある位置が、現在選択されている項目です。

```
*MENU*
 >MONITOR-VOL. SET
  REPEAT-CALL SET
  CYCLE-CALL SET
  TIME SET
  VOICE-ENTRY
  LOG-SAVE
```

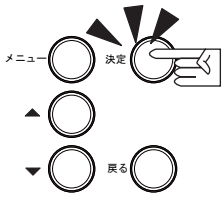
メニュー画面

・メニュー画面から[戻るスイッチ]を押すと、トップ画面へ戻ります。
・各種設定をおこなう場合は、必ずメニュー画面を表示させてください。

＊モニター音量＊

手順①

メニュー画面へ移動し、[上下選択スイッチ]を押して、【 > 】のカーソルを【MONITOR-VOL　SET】へ移動させてください。移動後[決定スイッチ]を押してください。



各種設定スイッチ

```
*MENU*
 >MONITOR-VOL. SET
  REPEAT-CALL SET
  CYCLE-CALL SET
  TIME SET
  VOICE-ENTRY
  LOG-SAVE
```

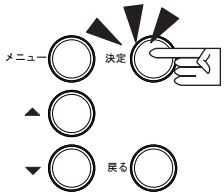
メニュー画面

手順②

右のような画面に移動します。
【*】マークの位置が現在の設定値です。
お好みのボリュームを[上下選択スイッチ]で選択し、[決定スイッチ]を押してください。
【*】マークが選択した位置へ移動したことを確認してください。
音量は

（MUTE：音量0
HALF：音量小
FULL：音量大）

となっています。



各種設定スイッチ

```
*MONITOR-VOL. SET*
 >MUTE
*  HALF
   FULL
```

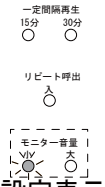
設定画面

現在の設定値

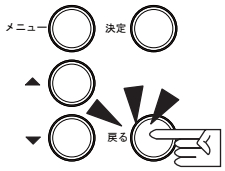
手順③

各種設定表示LEDのモニター音量が設定の内容に合わせて点灯します。設定した内容と正しいかどうか確認し、正しければ[戻るスイッチ]を押してメニュー画面へ戻ってください。

以上でモニター音量の設定は完了です。



各種設定表示LED



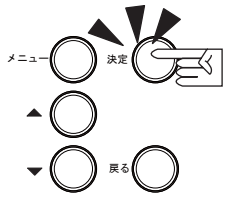
各種設定スイッチ

生産終了
Production end

＊リピート呼出し＊

手順①

メニュー画面へ移動し、[上下選択スイッチ]を押して、【 > 】のカーソルを【REPEAT-CALL　SET】へ移動させてください。移動後[決定スイッチ]を押してください。

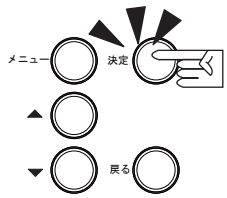


各種設定スイッチ

```
*MENU*
   MONITOR-VOL. SET
  >REPEAT-CALL SET
   CYCLE-CALL SET
   TIME SET
   VOICE-ENTRY
   LOG-SAVE
```
メニュー画面

手順②

右のような画面に移動します。
【*】マークの位置が現在の設定値です。
ONを上下選択スイッチで選択し、[決定スイッチ]を押してください。
【*】マークが選択した位置へ移動したことを確認してください。



各種設定スイッチ

```
 *REPEAT-CALL. SET*
*  >OFF
    ON
```
設定画画面

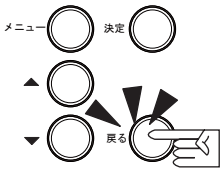
現在の設定値

手順③

各種設定表示LEDのリピート呼出しの【入】が点灯します。点灯を確認したら[戻るスイッチ]を押してメニュー画面へ戻ってください。

以上でリピート呼出しの設定は完了です。

各種設定表示LED



各種設定スイッチ

※リピート呼出しを解除する場合は、手順②でOFFを選択してください。

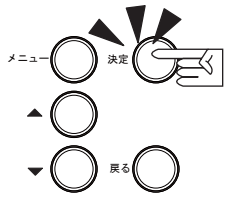
生産終了
Production end

＊一定間隔再生＊

●一定間隔再生の放送はCH32の呼出メッセージを使用します。解除メッセージに音声が登録されていても、放送はされません。

手順①

メニュー画面へ移動し、[上下選択スイッチ]を押して、【 > 】のカーソルを【CYCLE-CALL　SET】へ移動させてください。移動後[決定スイッチ]を押してください。

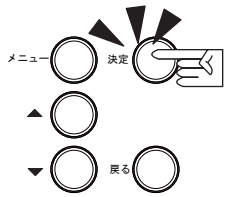


各種設定スイッチ

```
*MENU*
   MONITOR-VOL SET
   REPEAT-CALL SET
 >CYCLE-CALL SET
   TIME SET
   VOICE-ENTRY
   LOG-SAVE
```
メニュー画面

手順②

右のような画面に移動します。
【*】マークの位置が現在の設定値です。
必要な放送時間間隔を[上下選択スイッチ]で選択し、[決定スイッチ]を押してください。
【*】マークが選択した位置へ移動したことを確認してください。
放送間隔は
（ OFF　：切
　15MIN：15分
　30MIN：30分 ）
となっています。



各種設定スイッチ

```
 *CYCLE-CALL  SET*
*  >OFF
    15MIN
    30MIN
```
設定画面

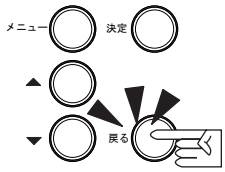
現在の設定値

手順③

各種設定表示LEDの一定間隔再生が設定の内容に合わせて点灯します。設定した内容と正しいかどうか確認し、正しければ[戻るスイッチ]を押してメニュー画面へ戻ってください。

以上で一定間隔再生の設定は完了です。

各種設定表示LED



各種設定スイッチ

生産終了
Production end

＊メッセージ変更＊

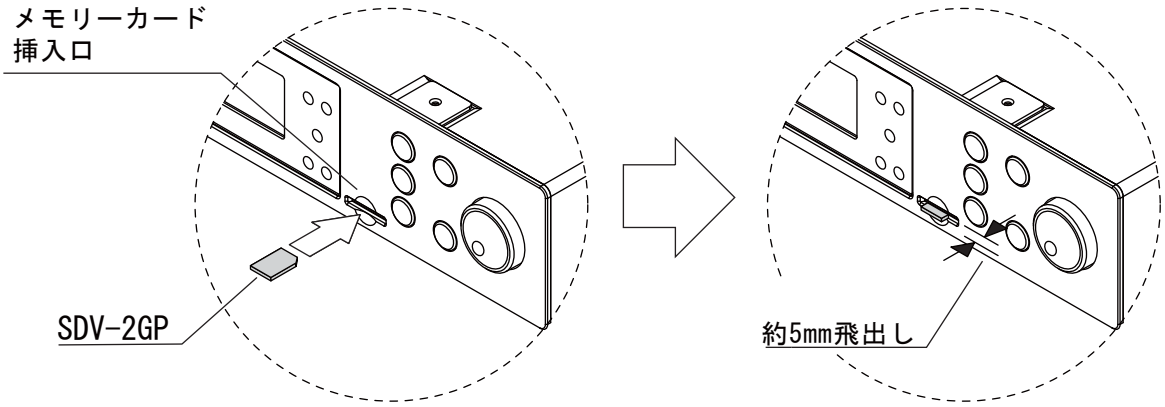
注意

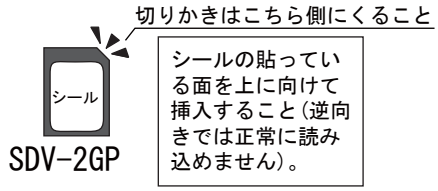
・メッセージ変更をおこなうと、蓄積していた呼出しのデータが消えて、再生もストップしてしまいます。店舗営業時間中はご注意ください。
・メッセージを書き換えると、前のメッセージデータは消えてしまいます。
・データの読み込み中は電源を切る、メモリーカードを抜く、などの作業はおこなわないでください。正常にメッセージ変更がおこなえません。

・メッセージ変更にはメモリーカード(型式SDV-2GP 別売)が必要です。
・PTLITEプレイリストエディタ(弊社HPより無料でダウンロード可能 http://www.patlite.co.jp/peditor)でお客様でのメッセージ編集登録作業ができます。付属のメッセージCD-ROMにはご注文時のメッセージデータとプレイリストが入っています。
・プレイリストデータの作成に関してはPTLITEプレイリストエディタのヘルプを参照してください。
・音声データ(MP3)を作成する際は、64kbit/s・モノラルで作成してください。

手順①

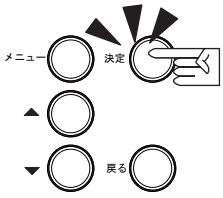
・メモリーカードを下図のようにメモリーカード挿入口へ差し込んでください。
・メモリーカードが完全に差し込まれた状態で、本体より約5mm程度メモリーカードが飛び出ています。





手順②

メニュー画面へ移動して、[上下選択スイッチ]を押して、【 > 】のカーソルを【VOICE-ENTRY】へ移動させてください。移動後[決定スイッチ]を押してください。



各種設定スイッチ

```
*MENU*
   MONITOR-VOL. SET
   REPEAT-CALL SET
   CYCLE-CALL SET
   TIME SET
 >VOICE-ENTRY
   LOG-SAVE
```

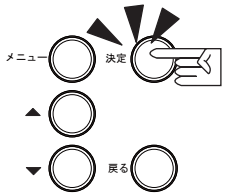
メニュー画面

生産終了
Production end

手順③

右のような画面に移動しますので、[決定スイッチ]を押してください。

なお、[戻るスイッチ]を押すとメニュー画面へ戻ります。



各種設定スイッチ

```
*VOICE-ENTRY*
              OK?
```

音声書換画面

手順④

・右図の表示が表れ、メモリーカードのメッセージデータを読み込みます。

・データの読み込みには1分程度かかります。
・データの読み込み中は電源を切らないでください。
・データの読み込み中は決してメモリーカードを抜かないで下さい。
・メモリーカード内に他のデータが存在する場合や、データが断片化している場合、読み込み時間が通常よりも長くなることがあります。

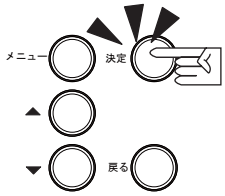
```
*VOICE-ENTRY*

        READING･･･
```

音声書換画面

手順⑤

◇正常終了時は右図のような画面になりますので、[決定スイッチ]もしくは[戻るスイッチ]を押してトップ画面へ戻ってください。

◆右下のような画面が出た場合は読み込み失敗です。[決定スイッチ]もしくは[戻るスイッチ]を押してトップ画面へ戻って手順①からやり直してください。再度失敗するようであれば、左下のエラーコードを確認し、P20の【10.修理を依頼される前に】をお読みいただき、その指示に従って操作してください。



各種設定スイッチ

```
*VOICE-ENTRY*
              OK!!
```

正常終了画面

```
*VOICE-ENTRY*
              NG!!
```

エラーコード
(2桁表示)

読込失敗画面

手順⑥

メモリーカードを引き抜いてください。

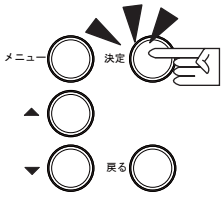
注意
※メモリーカードはプッシュ取り出し方式ではありませんので、押しても出てきません。そのまま引き抜いてください。強く押しすぎると故障する恐れがありますのでご注意ください。

生産終了
Production end

＊時刻設定＊

手順①

メニュー画面へ移動し、[上下選択スイッチ]を押して、【 > 】のカーソルを【TIME　SET】へ移動させてください。移動後[決定スイッチ]を押してください。



各種設定スイッチ

```
*MENU*
   MONITOR-VOL. SET
   REPEAT-CALL SET
   CYCLE-CALL SET
 >TIME SET
   VOICE-ENTRY
   LOG-SAVE
```

メニュー画面

手順②

・右のような画面に移動しますので、[上下選択スイッチ]と[決定スイッチ]で、時刻を決定していきます。
詳細は
・YY：年(下2桁表示)
・MM：月(2桁表示)
・DD：日(2桁表示)
・hh：時間(2桁表示)
・mm：分(2桁表示)
となっています。

```
*TIME SET*
          'YY/MM/DD hh:mm
```

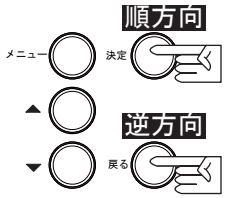
時刻設定画面

手順③

現在選択されている数字の下にアンダーバーが表示されます。[決定スイッチ]を押すと、

年⇒月⇒日⇒時間⇒分

と移動します。
[戻るスイッチ]を押すと、アンダーバーが逆に移動します。



各種設定スイッチ

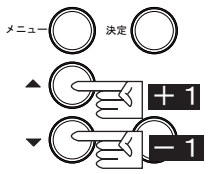
```
*TIME SET*
          'YY/MM/DD hh:mm
```

時刻設定画面

アンダーバー

手順④

[上下選択スイッチ▲(▼)]を押して、アンダーバーで選択されている箇所の値を設定します。▲を押すと現在の値から数字が1増え、▼を押すと現在の値から数字が1減ります。
なお、それぞれ長押し(約2秒間)すると、数字が早送りで変わります。



各種設定スイッチ

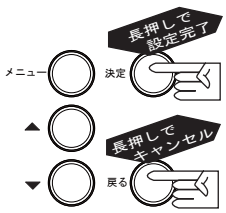
```
*TIME SET*
          '05/MM/DD hh:mm
```

時刻設定画面

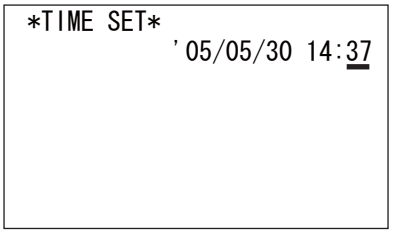
生産終了
Production end

手順⑤

入力が完了しましたら、[決定スイッチ]を長押し(約2秒間)してください。時刻設定が完了し、メニュー画面へ戻ります。
なお、[戻るスイッチ]を長押し(約2秒間)しますと時刻設定はキャンセルされ、メニュー画面へ戻ります。



各種設定スイッチ



時刻設定画面

生産終了
Production end

＊ログ保存＊

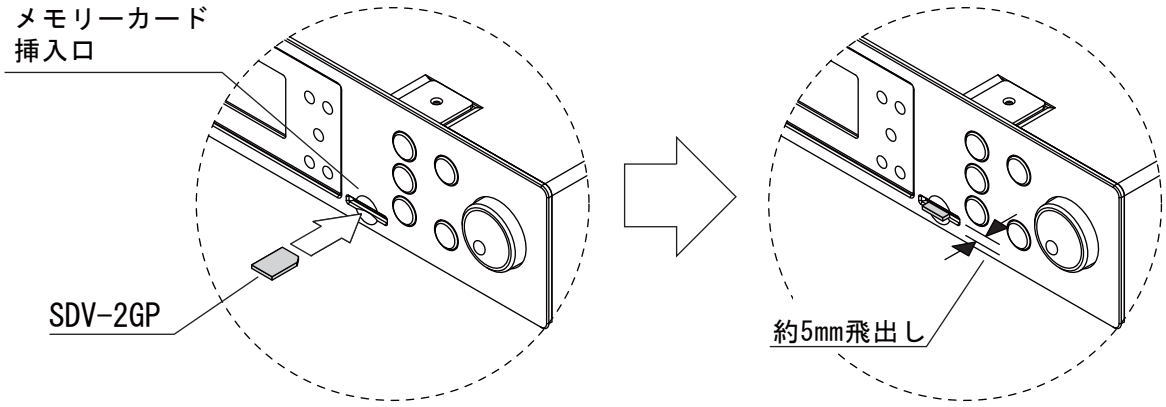
注意

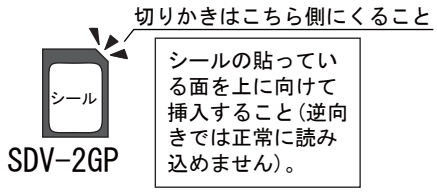
・空き容量のないメモリーカードは使用しないでください。ログデータが破損します。
・ログデータは、1～65536件(必要メモリーカード容量4KB～約2.1MB)まで保存可能です。
　また、メモリーカードには必ず、必要メモリーカード容量を確保してください。
・ログ保存をおこなうと、蓄積していた呼出しのデータが消えて、再生もストップしてしまいます。店舗営業時間中にログ保存される場合はご注意ください。
・ログ保存中は電源を切る、メモリーカードを抜く、などの作業はおこなわないでください。
　メモリーカードを破壊する恐れがあります。

・ログ保存にはメモリーカード(SDV-2GP(別売オプション品))が必要です。
・ログ保存に表示される時間は時刻設定で設定した時間で記録されます。

手順①

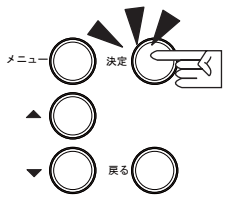
・メモリーカードを下図のようにメモリーカード挿入口へ差し込んでください。
・メモリーカードが完全に差し込まれた状態で、本体より約5mm程度メモリーカードが飛び出ています。





手順②

メニュー画面へ移動し、[上下選択スイッチ]を押して、【 > 】のカーソルを【LOG-SAVE】へ移動させてください。移動後[決定スイッチ]を押してください。



各種設定スイッチ

```
*MENU*
   MONITOR-VOL. SET
   REPEAT-CALL SET
   CYCLE-CALL SET
   TIME SET
   VOICE-ENTRY
 >LOG-SAVE
```

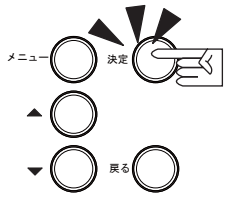
メニュー画面

生産終了
Production end

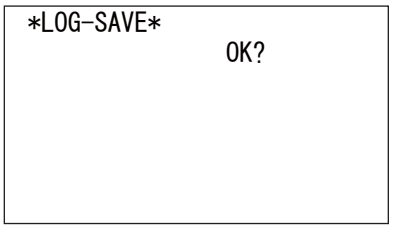
手順③

右のような画面に移動しますので、[決定スイッチ]を押してください。

なお、[戻るスイッチ]を押すとメニュー画面へ戻ります。



各種設定スイッチ

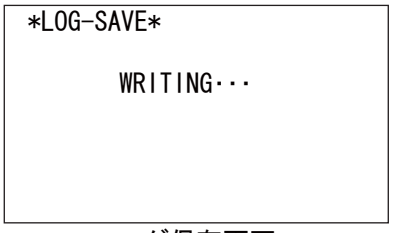


ログ保存画面

手順④

・右図の表示が表れ、メモリーカードへログデータを書き込みます。

・データの書き込みには数分(メモリーカードとログの容量による)かかります。
・データの書き込み中は決して電源を切らないでください。
・データの書き込み中は決してメモリーカードを抜かないで下さい。
・メモリーカード内に他データが存在する場合や、データが大量に蓄積している場合、書き込み時間が長くなります。

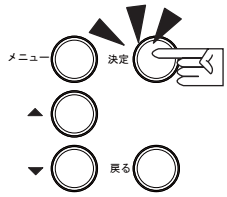


ログ保存画面

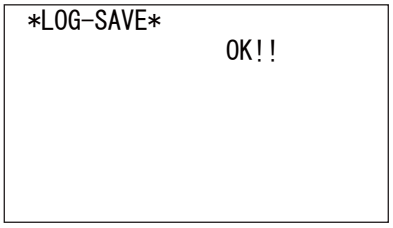
手順⑤

◇正常終了時は右図のような画面になりますので、[決定スイッチ]もしくは[戻るスイッチ]を押してトップ画面へ戻ってください。

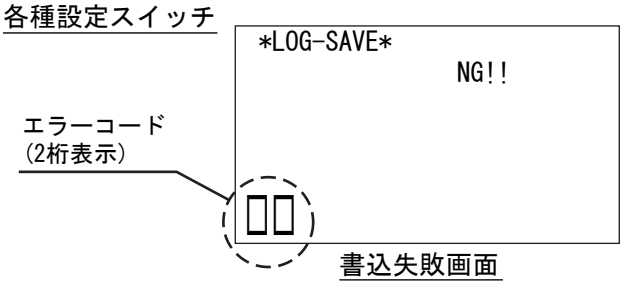
◆右下のような画面が出た場合は書き込み失敗です。[決定スイッチ]もしくは[戻るスイッチ]を押してトップ画面へ戻って手順①からやり直してください。再度失敗するようであれば、左下のエラーコードを確認し、P20の【10.修理を依頼される前に】をお読みいただき、その指示に従って操作してください。



各種設定スイッチ



正常終了画面



書込失敗画面

生産終了
Production end

手順⑥

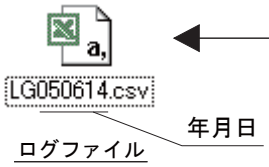
メモリーカードを引き抜いてください。

注意

※メモリーカードはプッシュ取出し方式ではありませんので、押しても出てきません。そのまま引き抜いてください。強く押しすぎると故障する恐れがありますのでご注意ください。

パソコン上でのログデータの確認

・メモリーカードの中を確認すると、下図のようなファイルができています。
・ファイル名の下6桁はログデータを保存した年月日が自動的につけられます。



表計算ソフトで開くことができます。

出力したデータの中身は以下のようになっています。

2005/5/30	14:37	0x439A	4	1
2005/5/30	14:39	0x81B2	32	2

呼び出された年月日を西暦で表示します。	呼び出しのあった時間を24時間表示します。	呼び出しのあった送信機のID番号を表示します。	呼び出しのあった送信機のCH(チャンネル)(メッセージリストに対応)を表示します。	呼出し信号の種別を表示します。 1:　呼出し 2:　解除 となっています。

生産終了
Production end

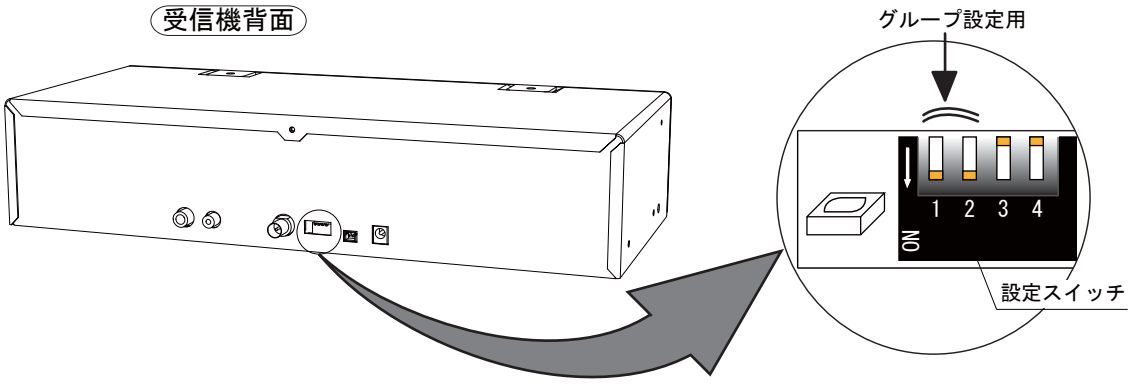
＊グループ設定＊

注意

・受信機と送信機のグループが異なると、動作しません。
・グループ設定以外のスイッチの設定を変更すると、動作しなくなります。
・電源を切らずに設定をおこなうと、動作しなくなります。必ず受信機・送信機共に電源を切り、設定をおこなってください。

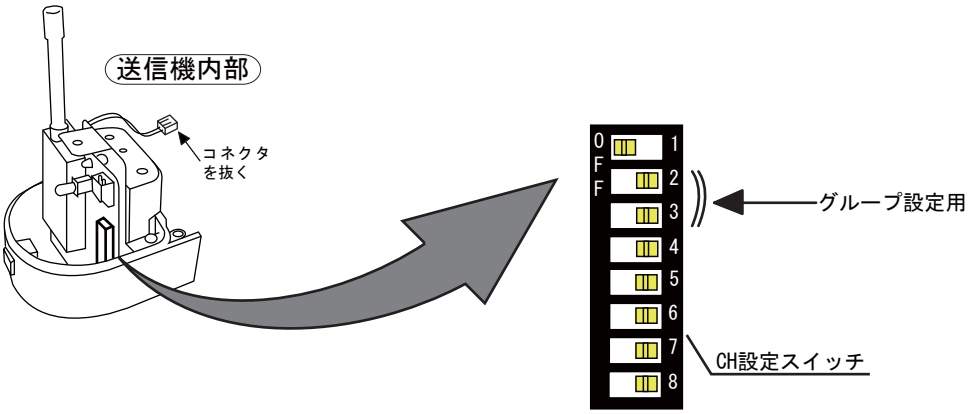
手順①

・受信機の電源を切り、下図の設定スイッチの場所を確認してください。
・設定に使用するスイッチは、1番と2番です。



手順②

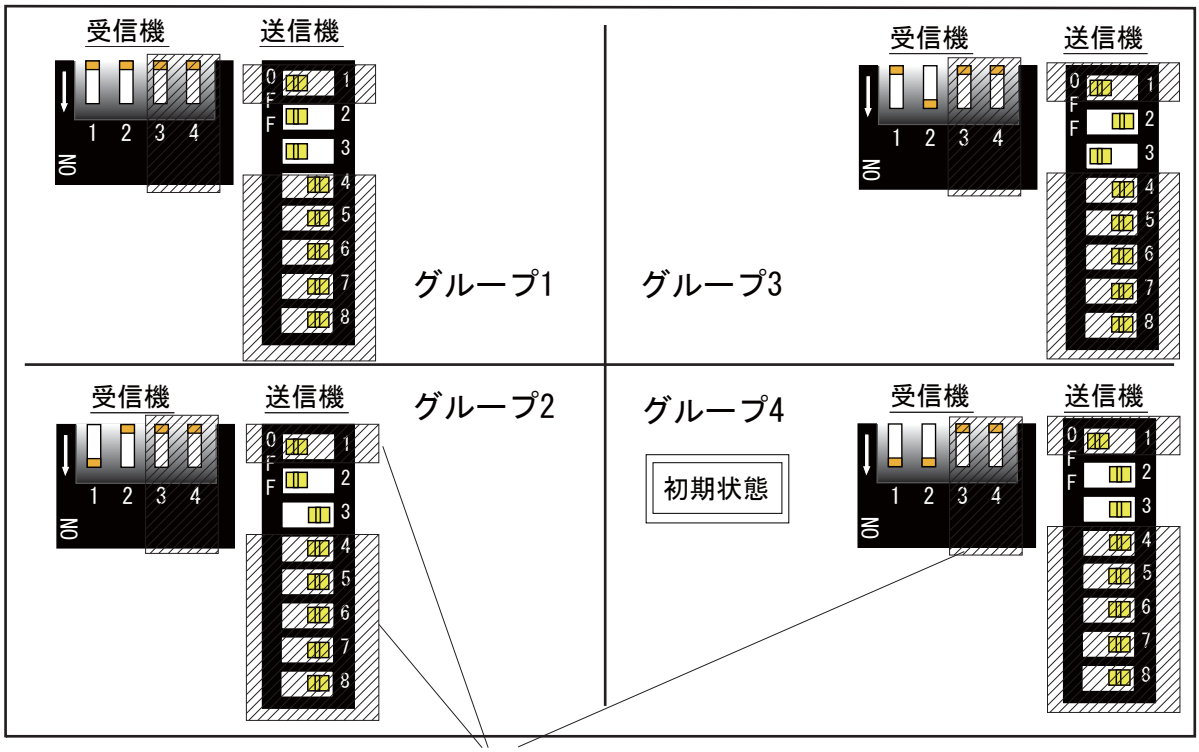
・送信機の電池コネクタを外して電源を切り、下図の設定スイッチの場所を確認してください。
・送信機の分解方法は別途送信機の取扱説明書をご参照ください。
・設定に使用するスイッチは、2番と3番です。



生産終了
Production end

手順③

・下図を参照し、受信機の1番と2番、送信機の2番と3番のスイッチ設定を同じグループへ設定してください。
※送信機の設定スイッチの4～8はCHスイッチです。グループ設定では使用しません。
設定を変更すると、放送されるメッセージも変更されますのでご注意ください。



の部分はグループ設定では使用しません。

手順④

全ての送信機を受信機と同じグループに設定してください。

手順⑤

受信機と送信機の電源を投入し、正常に動作するか確認してください。

・正常動作
以上でグループ設定完了です。

・動作せず
手順①からやり直してください。

生産終了
Production end

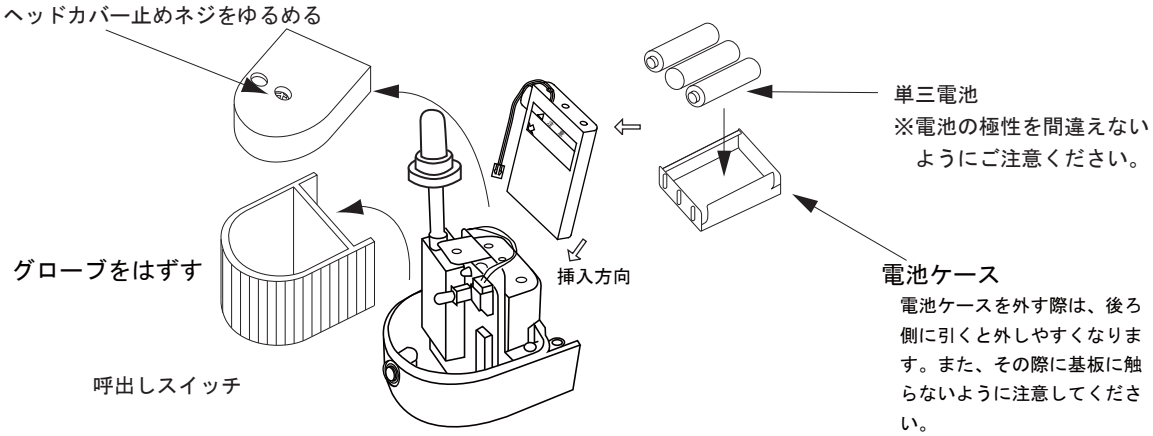
9. 送信機の電池交換

注意

- ●交換する電池は、アルカリ単三電池以外は使わないでください。マンガン電池を使用すると使用可能時間が短くなります。また、ニカド電池（充電式）は使用できません。
- ●電池交換の際に電池ケースのリード線を部品にはさんで切らないように注意してください。送信機の中の電池ケースに印刷されています注意書きをよくお読みください。
- ●電池を交換する前に金属の取っ手などを触って、体に帯電した静電気を放電させてください。
- ●不用意に基板に触らないでください。

【電池交換時期の目安】

送信機の電池が消耗した状態になるとLEDランプが点滅します。LEDランプが点滅しましたら速やかに電池を交換してください。通常の使用状態で電池の寿命は約1年です。



10. 修理を依頼される前に

メッセージ変更、ログ保存中に表示されるエラーコードについては下表を参照してください。

エラーコード一覧＆対策

表示	内容	対策
01	メモリカード未挿入	メモリーカードの挿入を確認してください。
08	FAT種別エラー	本機が対応可能なメモリーカードのフォーマットはFAT12とFAT16です。それ以外のフォーマットはアクセスできません。パソコンで再フォーマットするか、別のカードをご用意ください(※フォーマットした場合、メモリーカードのデータは全て消去されます。大切なデータはバックアップをとってからおこなってください。)
0B	playlist&dataフォルダ未検出エラー	プレイリスト(playlist)およびdataフォルダが正しい場所にあるかどうか確認してください。 (PATLITEプレイリストエディタのHELP参照)
1A	内部メモリ容量不足	音声ファイルの容量を小さくしてください。 登録できる音声ファイルのサイズは合計で約3.5MBです。
30	ログデータなし	保存するログデータがありません。送信機の呼出・解除操作をおこなうと、ログデータは受信機へ蓄積されていきます。
31	メモリーカード空き領域不足	メモリーカードの空き容量を増やしてください。 (P.15ログ保存参照)

生産終了
Production end

33	メモリカードルートディレクトリ空きなし	メモリーカード内のルートディレクトリにファイルが多すぎます。メモリーカード内のファイルを整理してください。
35	メモリーカード内にログ保存のファイルと同一名のファイルが存在する	ファイル名は作成時の年月日で自動的に決まります。1日にログ保存を2回おこなうと、同一名のファイルが2つになってしまいます。作成済みの同名ログファイルをパソコンのデスクトップ等に移動させてください。

※上記以外で読込・書込みでエラーが発生する場合は、一度メモリーカードをフォーマットするか、別のメモリーカードをご用意ください(※フォーマットした場合、メモリーカードのデータは全て消去されます。大切なデータはバックアップをとってからおこなってください。)

下記症状の場合は、修理を依頼される前に点検箇所を確認してください。

トラブル内容	点検箇所	関連ページ
受信機の電源が入らない	○受信機の電源アダプタは正しく接続されていますか？ 電源アダプタがコンセントと受信機にしっかり接続されている事を確認して下さい。	5ページ
メッセージが放送されない	○受信機の電源は入っていますか？ 受信機の電源アダプタの接続と、電源スイッチがONになっている事を確認して下さい。	5,6ページ
	○受信機と放送設備はきちんと接続されていますか？ 受信機とお客様の放送設備との音声ケーブル接続を確認して下さい。	5ページ
	○放送設備のボリュームが絞られていませんか？ お客様の放送設備を確認して下さい。	5ページ
	○受信機とアンテナはきちんと接続されていますか？ 接続ケーブルのアンテナ側と受信機側の接続を確認して下さい。	5ページ
	○送信機の電池が消耗していませんか？ 送信機の電池を交換して下さい。	20ページ
	○グループ設定は間違っていませんか？ 受信機と送信機のグループ設定が、同じグループになっているかどうか確認して下さい。	19ページ
	○この他に・・・ 違法無線局などから強力な妨害電波が出ている場合、送信機と受信機が通信出来ない場合があります。	――
メモリーカードが読み込めない/書き込めない	○SDV-2GPにプレイリスト(playlist)ファイルは入っていますか？ PATLITEプレイリストエディタのヘルプを参照してください	――
	○mp3ファイルのタイトルが半角8文字以上になっていませんか？ タイトルを半角8文字以内にして下さい。	――
	○dataフォルダに必要な音声(MP3)ファイルは入っていますか？ プレイリストに登録してあるファイルは全てdataフォルダへ入れてください	――
設定内容・時計が電源投入時に消えてしまう	バッテリー切れの可能性があります。バッテリーの交換は技術相談窓口へお問い合わせください。(※バッテリーの寿命はおよそ5年です)。	――

●正常に取付け、操作をしても動作しない場合は、最終ページに記載しています技術相談窓口へお問い合わせください。

生産終了
Production end

11. 仕様

受信機【RC-100C】

形　　式	RC-100C
定格電圧	DC12V (ACアダプタ：入力AC100V 50/60Hz)
アンテナ入力	BNCジャック　50Ω
音声出力	ライン出力:600Ω、0dBv マイク出力:600Ω、-50dBv　不平衡
送信機登録台数	最大32台
音声合成方式	MP3(MPEG1 Audio Layer-3)64kbit/s
再生時間	トータル500秒(64kbit/s 録音時)
モニター音量	大・小・切　3種類　音量大時　約88dB(at 1m)
使用環境	屋内専用（雨、水などがかからないこと）
動作周囲温度	0℃～+40℃
相耐湿度	85%以下(結露なきこと)
寸法	外観図参照
質量	2.3kg(ACアダプタ含まず)
対応メモリーカード	SDV-2GP

送信機【RC-TC】

形　　式	RC-TC
定格電圧	DC4.5V　(単三電池×3)
電池寿命	約1年（1日40回送信）
使用環境	屋内専用（雨、水などがかからないこと）
送信周波数	特定小電力　10mW 429MHz帯
動作周囲温度	0℃～+40℃
相耐湿度	85%以下(結露なきこと)
寸法	70×106×81
質量	400g（電池および取付金具を含む）

12. 付属品

受信アンテナー式	1	ゴム足(4個)	4
オーディオケーブル（1.5m)	1	ACアダプタ	1
取扱説明書	1	取付アングルセット	1
BUSY出力ケーブル(20cm)	1	メッセージCD-ROM	1

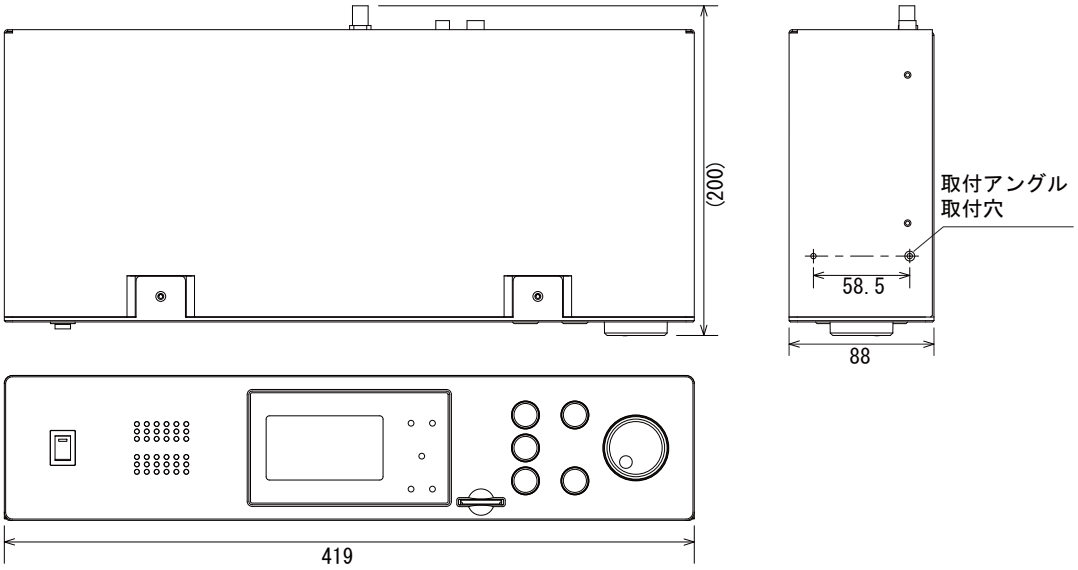
※仕様については改善のため、予告なしに変更する場合があります。

生産終了
Production end

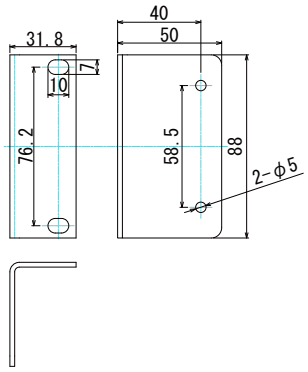
13. 外観図

[単位：mm]

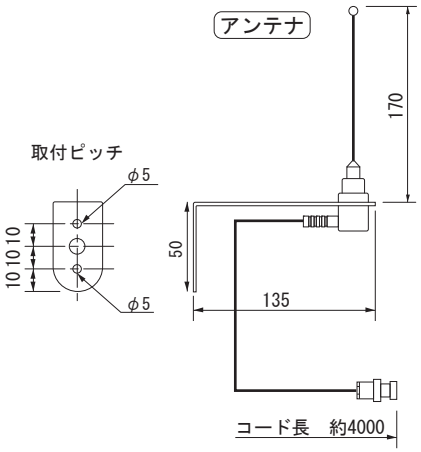
受信機 RC-100C



取付アングル



アンテナ



生産終了
Production end

Rev.1.3

製品保証規定

この保証規定は、お買い上げいただいた製品に対して株式会社パトライト(以下弊社)がお客様に保証する内容について明記しています。

■ 製品保証について
取扱説明書等の注意書きに基づくお客様の正常なご使用状態のもとで、保証期間内に万一故障した場合、無償にて故障箇所の修理または製品の交換をさせていただきます。製品保証の原則は故障箇所の修理です。

■保証期間
製品はお客様がお買い求めいただいてから12ヶ月間の保証を致します。
保証期間経過後は有償修理扱いとなります。 保証期間内に製品の修理・交換対応があったとしても、保証期間はその製品のお買い上げ日より12ヶ月間をもって満了となります。

■保証内容について
保証は製品の無償修理または交換に限定され、お客様の故障品調査や作業人件費、交通費・付属品など、製品以外に関する費用は保証の対象ではありません。

■保証範囲除外事項
以下の場合、または以下のように見受けられる場合は、製品の無償修理または交換の対象となりません。
・モータ・電球・ロータゴム・パッキン・Oリング・キセノン基板・その他消耗部品の磨耗や寿命の場合
・火災、地震、落雷、塩害、風水雪害、その他天災地変、または異常電圧などによる故障・損傷の場合
・停電、電源・ケーブルなどの故障による電気の切断に起因する故障・損傷の場合
・製品を取付け又は接続しているお客様の装置・機器・車両・船舶などとの間に生じる独特の動作不具合や故障の場合
・指定環境や推奨環境以外でのご使用により発生する不具合や故障の場合
・製品性能を超える環境やご使用方法により発生する不具合や故障の場合
・お客様の使用上の誤りやお客様が独自に改造・修理・部品交換をされたことに起因する故障・損傷の場合
・交換/取付作業による製品破損(例:物理的破損、静電気によるデバイスなどの損傷)の場合
・輸送・移動時の落下衝撃等、お客様の取扱いが適正でないために生じた故障・損傷の場合
・故意または過失による製品の故障または破損の場合
・製品が日本以外の国で使われている場合

■保証免責事項
お買い上げ製品(ソフトウエアを含む)の故障もしくは動作不具合により直接または間接的に生じた被害・損害、設備および財産への損害、お客様および関係する第三者の製品やシステムへの損害、顧客からの信用、またはそれらを修復する際に生じる費用(人件費、交通費、復旧費)など、一切の保証は致しかねます。

■責任制限
・弊社の責任範囲は、製品の故障箇所の修理または交換のみに限ります。
従いまして、製品自体または製品の使用から直接または間接的に生じたいかなる損害についても、弊社に故意または重大なる過失がある場合を除き、一切責任を負うものではありません。
また、弊社が責任を負う場合でも、重大な人身損害の場合を除き、お客様が購入された製品価格を超えて責任を負うものではありません。
・製品の修理や交換がサービス応答時間内に対処できないことから発生する直接的及び間接的損失または損害、並びに逸失利益の責任を弊社は負いません。
・弊社が発行する製品取扱説明書その他の文書、または情報に印刷上、事務上、その他誤りまたは記述漏れがある場合は、弊社は責任なしに修正することができます。また、そこから発生するあらゆる損失または損害において弊社は一切責任を負うものではありません。

注) この保証書は本書に明示した期間・条件のもとで無償修理または交換をお約束するもので、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

世界中に「安心・安全・楽楽」をお届けする
株式会社 パトライト
J1B
本　社/〒541-0053　大阪市中央区本町4-4-25
※記載内容は、変更されることがあります。あらかじめご了承ください。
http://www.patlite.co.jp
受付時間 9:00～17:00
土/日/祝日と夏期/年末年始の休日は、留守番電話でお受けいたします。
●技術相談窓口 (無料) ■フリーコール 0120 (497)090 (シグナル オクレ) ■FAX. 079(568)6604
※ご注文・価格・商品内容等は、各営業所拠点または代理店にお問い合わせください。

T95100070 H
'14.1. AUTO